

- ◆ 会 場：柏崎原子力広報センター 研修室
- ◆ 出席委員：新野・久我・佐藤・三宮・前田・武本委員 …6 名
- ◆ オブザーバー：保安院／竹本所長 大嶋副所長 エネ庁／七部所長
東電／長野副所長 西田技術担当 森 GM
- ◆ 事務局：柏崎市／阿部主任 刈羽村／名塚参事 山崎主査
- ◆ 広報センター／永井事務局長 石黒主事

次回以降定例会内容について

◆ 10 月定例会（10 月 7 日）内容について

〈会長〉勉強会などが続き、7, 6 号機のことや今後のことなど十分な質疑ができなかった。住民側の素朴な質問が時間的に出しにくかった。10 月 7 日時点の状況はどうか。7 号機はとまっているか。

〈東電〉9 月下旬と報告している。また、昨日提出した報告書にも 9 月下旬とある。新しい話としては、データがどうなのか。とめた後、漏れた燃料棒を特定してそれに対し、どう対応をするかを昨日提出した報告書に記載している。

〈委員〉経過報告してもらおうのでいいのではないか。

〈会長〉9 月中に安定した状態で何かデータをとっているようだが、数字ではなく何の目的で何をしているのかという説明をしていただきたい。

〈東電 了解〉

〈委員〉今回の火災原因についての説明もいる。

〈東電〉前回定例会で委員から宿題がある。本日の委員質問にもあるのでまとめて説明させていただきます。

〈委員〉6 号機の状態はどうなっているか。

〈東電〉100%出力運転中。プラント全体の機能試験は今週でだいたい終わる。報告書が間に合えばその説明もさせていただく。

〈委員 了解〉

〈委員〉東電管内の電力消費がどうなっているか。電気予報の実績を報告してほしい。原発は、電気が将来足りなくなるから必要だという名目で建設が進められてきたが、ここ 10 年間の電力消費実績を見れば明らかに減少しているはずで、この必要性は薄らいできているはず。今後どうなるのか、原発の位置づけはどうなるのかという議論が大事だと思う。

〈委員〉去年の夏明けにも、ピーク時に原発がとまっても大丈夫だったのではないかという話がでた。その延長線の話ならいいが、そこから電気は不要ではないかという話になると話がややこしくなる。

〈会長〉エネルギー政策について、もっと住民側の視点で勉強をしたいという要望がアンケートにもあり、勉強会のテーマの一つとして考えている。しかしながら、政権が交代し、エネルギー政策について変更も有り得る事を考えると、もうしばらく後に勉強することとしたい。

〈委員〉そういう議論の前提として、夏場のピーク時が終わったので今年どうだったかという電気予報の実績を報告してほしい。そういう問題を内包しているはず。

〈委員〉それならわかる。それはいいと思う。

(委員 了解)

〈東電〉ほかの委員さんに質問内容がわかるように質問文に加えていただきたい。

(委員 了解)

〈東電〉6号機岩盤について絵入りで説明をと要望があった。どのようにしたらいいだろうか。

〈会長〉県技術委員会で同じような議論がされているなら、技術委員会の結論を聞いた方が有効と思う。事実と評価を両方聞きたい。そうでないとほかの委員はついていけない。県に確認とる。

(事務局 了解)

〈委員〉東電が説明後、県から技術委員会での議論があれば説明してもらったらいと思う。

〈会長〉PWRの件でも質問があったと思うが、それも技術委員会で議論されているのなら、合わせて回答してもらえると一般委員は納得できる。聞いたことだけに答えるとわからないままで終わってしまう。

〈保安院〉保安院への質問としては、1. 志賀原発がBかPか。2. オフサイトセンターの耐震性はどうか。3. モバイル保安院の配信基準について。というのがあった。オフサイトセンターの建設は県が行っているが、一般的にオフサイトセンターの建設基準があるのではないかということで、保安院から「前回定例会以降の動き」の中で説明させていただく。

〈会長〉オフサイトセンターの方針は保安院だろうが、実際建設したのは県だというのは説明してもらいたい。住民にはそういう住み分けがわからない。

(保安院 了解)

〈会長〉メイン議題はどうするか。

〈委員〉今までの持ち越しやそれに対する意見。その後は、今まで言えなかったこと、思っていたことなど、全体の質疑でいいのではないか。

(委員 了解)

【決定事項】

- ・ 7、6号機の状況報告。6号機ロックアップ、火災対応、電気需要実績についての委員質問への回答（東京電力）
- ・ 全体質疑

<タイムスケジュール（予定）>

18：30～19：15 前回定例会以降の動き

19：15～19：40 ロックアップ、電気予報、火災について（東電）

19：40～20：40 全体質疑

20：45～ その他

◆ 11月、12月定例会内容について

〈会長〉アンケートの意見にもあったが、時間があれば、今までされたさまざまな議論の中で、東電が改善すると方向を出したことの追跡をして、聞き置くべきなのが私たちの立場だろう。ポイント絞って、これはその後どうなっているかと聞いてもいいのではないかな。その後の報告をもらえば、経過や対策などがわかり、信頼や理解につながっていくだろう。

・ 11月に総ざらいをするわけではなく、運営委員会で十分協議し、テーマをピックアップし経過報告を受けてはどうだろうか。民主党政権になり、原子力政策がどうな

るかわからないが、そういう勉強をしたいという意見や、新検査制度に関する説明などもあるのでこれからできたらいいと考えている。

・それらも含め次回運営委員会でもう少し協議したい。アンケートの結果を活かさないといけない。

【決定事項】

- ・アンケートの意見について次回運営委員会にて協議する。
- ・11月4日（水）18：30～ 柏崎原子力広報センター 研修室（予定）
- ・12月2日（水）18：30～ 柏崎原子力広報センター 研修室（予定）

市・村の今後の防災計画のスケジュールについて

〈会長〉9月は県の方針を聞いた。市、村が計画を立てた後で、もう一度説明を受けるなりした方がいいだろう。おおまかなものでいいのだが今後のスケジュールはどうか。

〈柏崎市〉市は先週、パブリックコメントを締め切った。震災対策編、一般防災を含めて、パブコメに寄せられた意見に対し、市としてどういう考え方をあてるか検討中。それが終わって、改めて県と相談になるかと思う。今の段階でいつ話ができるとは言えない。

〈会長〉今の議論を踏まえ、然るべき方針をわかる方に伺ってほしい。今後の予定を立てる上でとても有効なので、早ければいつ頃、遅ければいつ頃という今後のスケジュールを、わかった段階である程度説明してほしい。

〈刈羽村〉現在、県の修正計画を基に修正案を作成中。すぐにとということにはならない。パブコメの前に第三者機関の設置もある。

〈委員〉説明を聞くのは市、村一緒か。

〈会長〉一緒がよい。年度をまたいだとしても、私たちはまだ任期中なので急ぐわけでない。何か変化があったら事務局に連絡していただきたい。委員には最後まで見届けたいという強い思いがある。

【決定事項】

- ・今後のおおまかなスケジュールについて動きがあったら説明をもらう（市、村）

勉強会について

〈委員〉勉強会について。前回の勉強会の講師と反対の考え方の人にもしてもらふ必要がある。それをいつ頃するか。

〈会長〉最初は、新委員も加わり議論がかみ合わないで、放射線の基礎勉強をしようという話からはじまった。講師の人選で少しもつれたが、やってみて、主張や方向性があまりにも偏っていたら、反対側の人を呼ぶ案もあるということで落ち着いていたと思うが。委員にどこかで聞く必要はある。

〈委員〉中身については、ここまで浴びてもいいですという話は基本的には間違いだと思っている。それで済ませるのは問題。中身もさることながらそういう一方的な話でいいのか。連れてくるのが東電、保安院が推薦する人だということでそれはだめだと。そのときに、では批判的な人の話も聞きましょうというセットだったと理解している。

〈会長〉本来はどこが推薦しよう、まず聞いてみて方向性が偏っていたらやるといったはず。

〈委員〉全てにいろいろな見方があり、その中で一方的な話を聞くだけではこの会の存在意義がなくなると思う。

〈委員〉一方的な勉強会だったと言う人もいるし、底上げの勉強だったと判断する人もいる。

反対の考え方をもった方が、放射線という専門的な分野で危険な話をすると皆さんがどう受け取るか。

〈委員〉聞いてもいいと思っている。

〈委員〉私も聞いてもいいと思うが、素人なりにジャッジできる話ならいいが、地震と同じで、わからないでただ不安を煽られて、だから放射線はだめなんだと言われると消化できなくなる。

〈委員〉今回の勉強会の内容は、必ずしもあれがいいことなのかどうか。角度を変えてみるとちょっと乱暴という気もする。医療放射線の問題はもっと大変な問題もあるという話も聞くことは大事だと思う。

〈委員〉聞くのは何も問題ないが、結局大学の先生で自説の説明で終わるような気がする。

〈委員〉放医研にいた人。もう一つの考え方として聞くのはいいのではないか。

〈会長〉そういう意味では何の差支えもない。ただ、この前の先生には、新委員を対象として、わかりやすくという条件をお願いをした。あの先生の言い方ではこれは何百時間ある授業のうちの1時間目だと。

〈委員〉難しい話をすればその先生が浮き上がるだけ。難しい話でなく普通の人理解できる話をできるかどうかの話。勉強会の議事録がHPにアップされれば、このレベルで話してほしいということで人選するしかないと思う。

〈委員〉例えば、この前の先生の、量の問題やたとえ話などをだめだという話をしてもらえならいいが、専門的な話を聞いたら、誰もそれに対して質問もできない。

〈委員〉委員からもこういう提案があって、先回の話とは視点が違う専門家もいるので話を聞いてみるのはどうだろうかと思うのでいいのではないか。

〈委員〉議事録が出るのだから、同じレベルで話をしてもらえばいい。

〈会長〉やるとなると現実的には12月か3月か。

〈委員〉早いほうがいいのでは。委員に諮って決めるのがいい。

〈会長〉10月定例会で、第2弾勉強会の提案をする。12月をめどに調整はしてみる。

【決定事項】

- ・10月定例会時に、第2弾勉強会の提案をする。

視点37号内容について

- ・「被爆」と「被曝」の漢字を使う。
- ・「規制上の要求である。」は、「規制している。」に修正する。

委員意見・質問

【決定事項】

- ・保安院、東電に対する質問は次回定例会の中で回答する。
- 〈会長〉次回はできるだけ全委員から発言してもらえようようにしたいと思っている。

次回運営委員会日程

10月21日（水）18：30～ 予定